

週刊

学びのコミュニティ

第39号

平成22年1月20日発行



【報告】

今回は Hatoba 立ち上げに関わり、この度「洋画字幕翻訳コンテスト」を成功させた学生さんから記事を寄せて頂いています。企画した動機から、準備、授賞式当日までの様子を詳しく語ってくれました。

Hatoba 企画の第三弾は「洋画字幕翻訳コンテスト」を行った。

2009年の夏に開催された、字幕翻訳家の戸田奈津子氏が審査委員長を務める神田外語グループ主催の「日本語字幕翻訳コンクール」に的場自身、応募したことをきっかけに、字幕翻訳の難しさや楽しさを身をもって感じる事ができた。的場が体感したこの貴重な経験を、もっと多くの人に感じてほしいという思いもあって、英語をご専門とされている先生方がたくさんいらっしゃる徳島大学でも開催してみれば面白いのではないかとこの企画を立てた。

コンテストを実施するにあたり、応募作品を審査して頂く審査員として欧米言語コースの先生方一人一人に依頼をしに研究室を訪ねて行ったのだが、タイミングがうまく合わず、なかなかお会いできなかった先生方も居らして、そこがこの企画で一番苦労した点である。しかし、審査員のお願いをしに行ったところ、どの先生もお忙しいにもかかわらず、快く二つ返事で承諾して下さい、欧米言語コースが特別協賛として本コンテストに参加して頂けることになった。

なお、この企画はコンテストという形にしたため、上位入賞者に賞品を出すことにした。欧米言語コースの先生方にその賞品のカンパのお願いしたところ、こちらも快諾して頂き、豪華な賞品を用意することができた。

前述の挨拶回りなどを済ませながら、同時にコンテ

スト自体の準備にも取り掛かっており、コンテストのポスターや各シーンの応募用紙の作成をしながら企画を進めていった。もともとパソコンを使って物を作ることが苦ではない僕にとって、楽しみながら応募用紙を作ることができた。結果、出来上がった“作品”に周りの方から多大な評価を頂き、とても嬉しかったことを覚えている。僕自身まだまだ手直しが必要な箇所があると思うのだが、この反省は次回に生かせたらと思う。

記念すべき第1回目として字幕対象題材に選んだ映画はジョニー・デップ主演の「シザーハンズ」である。そして、その映画の中からの的場が1、2分ほどのシーンを3つ選び出し、各シーンにおける登場人物のセリフを2か所、参加者に字幕を付けてもらい、最大3シーンまで応募できることをコンテスト内容とした。

ポスターや応募用紙を作成するに当たり注意したことは、「シザーハンズ」を見たことのない人のために手立てを取る事だった。そのために映画のDVDの貸し出しを行ったり、物語全体のあらすじを応募用紙に載せたり、英語のスク립トを載せてある各シーンの応募用紙に、その場面の解説を細かく入れたり工夫を凝らし「シザーハンズ」を知っている人と知らない人の差をできる限り少なくした。この対処もあって、参加者からは「おもしろい企画。映画も観られるし、定年後の勉強にもなった。」との声を頂くことができた。





また広報にも力を入れ、欧米言語コースの先生方が持っていらっしゃる授業にお邪魔させてもらい、学生に向け応募用紙を配らせて頂いた。学生からは芳しい反応が見られ、その場で早速字幕作成をしてくれている姿が見受けられた。上記の甲斐もあってか、13名の学生及び社会人の方から合計34点の応募があった。第1回目にしては満足のいく結果であった。

2009年12月22日(火)には第1回「洋画字幕翻訳コンテスト」の授賞式をHatobaの的場が司会で執り行った。

授賞式は第1部と第2部とに分け、第1部はトークセッションと題し、本コンテスト審査委員長の森岡先生と審査委員の山内先生に、的場とコンテストの手伝いをしてくれた光永雅子氏の各シーンの字幕をその場で評価して頂いた。

この日、司会進行をしていく上で僕が心掛けたことは、とにかく楽しい授賞式にしようということだった。授賞式ではお茶やお菓子を用意し、参加者自身に自由に飲食してもらい、まるで自宅にいてテレビ番組を見ているかのようなアットホームな雰囲気を終始感じてもらえるように心がけた。時折、こちらから授賞式の参加者に向けて“視聴者参加型番組”の様に質問を投げかけ、参加して頂くことをした。

 **NEW講座のお知らせ** 

※「**アーツと生涯学習**」1/18～始まっています！
②1/22(金) ③1/25(月) ④1/29(金) ⑤2/1(月)
この勉強会のまとめとして、2/5(金)に
第2回 International Conferenceを行います。

※学びのコミュニティ主催の研究会
第2回目は「**心理学的測定と人間理解**」です。
日時：1月28日(木) 17:00～
場所：4号館1階 学生支援室
講師：佐野 勝徳先生(総合科学部)
参加ご希望の方は事前にお申し込みください。

授賞式の参加者からは終始笑い声が聞こえ、和やかな雰囲気の中、第1部を終えることが出来た。

第2部は授賞式を執り行い、Hatoba賞・3位・2位・1位の順番で受賞者の発表を行った。表彰後、受賞者それぞれの字幕を入



れたシーンを参加者と一緒に鑑賞することになった。鑑賞後に審査委員長の森岡先生に評価をして頂き、その後、受賞者に受賞しての感想を頂いた。

授賞式が無事終わり、的場にとって生涯忘れられぬ一日となった。今後とも「洋画字幕翻訳コンテスト」は回を重ねていくつもりである。今回の反省を生かし、よりHatoba色が強いものに仕上げていくつもりである。

本企画を成功に納めることが出来たのも、偏に的場を支えて下さった学生支援室の境裕美さん、嵯峨山和美さん、中恵真理子さん、長宗雅美さん、光永雅子さん、そして何よりHatobaの企画に参加して下さいの皆様のお蔭だと感謝の意を述べ、最後の言葉としたい。

今後とも更なる進化を遂げる学びのコミュニティ“Hatoba”にご期待あれ。

なお、Hatobaの活動記録の詳細は、以下のサイト(本取組HP)をご覧ください。

<http://w3.ias.tokushima-u.ac.jp/sgp/>

(文責：徳島大学・総合科学部・人間社会学科・3年・学びのコミュニティ-Hatobaの的場一将)

その他の講座等の日程につきましては、“学びのコミュニティカレンダー”にてご確認ください!!

～編集後記～

12月に行われた「洋画字幕翻訳コンテスト」に境も参加させて頂きました。学生時代から英語があまり得意でない私ですが、辞書とにらめっこしつつ、字数制限を考慮しながら字幕をつけていく作業は、とても新鮮で楽しい体験でした。英語の新しい面白さを知るきっかけになりました。今後第2回、第3回…と続いていくと思いますが、より多くの方に参加して頂き、この面白さを知って頂けたらと思います。(境)